

## 「御霊の実 と 御霊の賜物」

ガラテヤ 5:22～23

2015.07.26 Alex Tan

1

### 概観

信仰生活の中で、霊的に成長するために、御霊による歩みがとても大切。御霊の実と御霊の賜物は自分の利益のためではなく、両方キリストの体のために欠かせないもの。

#### アウトライン

1. 御霊の実と御霊の賜物の違い
2. 御霊の実がなる環境
3. 御霊の実の目的
4. 適用

2

### 1. 御霊の実と御霊の賜物の違い

- 1) 回心＝生まれ変わる(ヨハネ 3:5-8)  
⇒内住(ローマ 8:9-10)⇒キリストらしさ
- 2) 聖霊のバプテスマ＝力を受ける(使徒 1:8)  
⇒奉仕⇒キリストの体を建てる
- 3) 御霊の賜物を使う (Iコリント 12:11-12)  
聖霊様が御心のままに、各々に分け与える。  
信仰の成熟さと無関係。
- 4) 御霊の実を結ぶ (ガラテヤ 5:22-23)  
実>律法。霊的成長は一生の目標。

3

### 2. 御霊の実がなる環境

- 1) 命が内住している (ガラテヤ 2:20)  
キリストの霊、御霊が与えられている。
- 2) ぶどうの木にとどまっている(ヨハネ 15:4)  
キリストにつながらなければならない。
- 3) 環境と土壌がきれい (ガラテヤ 5:19-21)  
肉の行いは実の成長を妨げる。
- 4) 試練や困難に会っている (ヤコブ 1:2-4)  
忍耐が生まれ成長し、完全になっていく。

4

### 3. 御霊の実の目的

- 1) 知られ、読まれるため (IIコリント 3:2-3)  
生ける神の御霊によって書かれ、キリストの手紙として人に読まれていく。
- 2) 神様・教会に用いられるため(使徒から)  
七人の執事(6:3)、バルナバ(11:24)、  
テモテ(16:3)、アナニヤ(22:12)。
- 3) キリストの姿になるため (ローマ 8:29)  
これは神様の御心で、聖霊の力でキリストに従うことによって、変えられていく。

5

### 4. 適用

キリストとの親しい交わりを成長させるために、霊的習慣を身に付けることが大事。

- ①礼拝 ②交わり ③祈り ④献金  
⑤聖書研究 ⑥デボーション ⑦伝道・宣教  
ほかの霊的習慣

キリストの主権を認めるために有効。

- ①断食 ②瞑想 ③簡素 ④独居

祈りの種類を試す: 迷宮(Labyrinth)など。

6